

# 東河小学校の沿革

明治	4年	10月	発盲館と称して、和田村 稲津五左衛門氏宅を校舎に創立	
	8年	4月	下等小学校 和田学校と改称	
	18年	6月	和田山小学校 和田分校となる。	
	22年	4月	和田簡易小学校と改称。市町村制実施で東河村全域を学区とする。	
	26年	4月	新学令により、東河尋常小学校と改称。	
44年			二カ年の高等科を併設して、東河村立東河尋常高等小学校となる。	
大正	11年	4月	高等科を複式、尋常科を単式編成とする。	
昭和	16年	4月	東河国民学校と改称	
	22年	4月	東河小学校と改称	
	30年	3月	東河村と和田山町との合併により、和田山町立東河小学校となる。	
		6月	新校舎(旧校舎)落成	
	36年	3月	体育館落成	
	36年	10月	給食室落成	
	41年	4月	校樹に「せんだん」制定	
	44年	7月	水泳用プール完成	
	47年	2月	学校創立百周年記念式典を挙行	
		11月	「健康教育をめざして」をテーマに郡内研究会を実施	
	53年	5月	校舎内のトイレを水洗式に改良	
	54年	8月	校舎の屋根の葺替え、壁面塗装工事を実施	
	55年	8月	東河っ子の森「堂山」を設置	
	56年	4月	特別教室・用務員室の改造。幼稚園独立園舎竣工	
59年	11月	県指定「グリーンスポーツ運動」研究発表会を実施		
60年	4月	「ふるさと学習」研究開始		
平成	元年	12月	校樹「せんだん」兵庫県郷土記念物に指定される。	
	2年	3月	児童交通自治班、県警察本部長・県交通安全協会長より感謝状及び盾を受賞する。	
	3年	5月	但馬教育委員会連合会指定『ふるさと学習』の研究指定を受ける。	
		10月	中国・内蒙古民族師範学校と姉妹校締結調印式を行う	
	6年	4月	兵庫県農林水産部より愛鳥モデル校の指定を受ける	
	7年	11月	平成6・7年度県教委・町教委指定 第6回町福祉研究発表会、福祉体験活動推進研究発表会開催。また、日頃の育友会活動に対して兵庫県教育長表彰を受ける。	
	8年	4月	中国・内蒙古自治区包頭市東河区公園路小学校と友好校締結	
	9年	12月	新校舎落成。竣工式。	
	11年	2月	新体育館落成。竣工式。	
		6月	プール内塗装・飛び込み台修理。	
		8月	包頭市友好校 公園路小学校校長他 教育関係者6名来校	
		10月	校樹「せんだん」治療	
	12年	4月	「東河清流太鼓」として本格的に練習がはじまる	
13年	11月	和田山町教育委員会指定 第12回町福祉教育研究発表会		

平成	14年	4月	学校五日制全面実施
	15年	11月	但馬地区小学校特別活動研究大会
	16年	11月	オープンスクール実施
	17年	4月	朝来市立東河小学校に改称する。
	19年	10月	壱岐市立箱崎小学校との交流会を開催する。
	20年	7月	東河青龍太鼓の指導者が来校
	21年	6月	3年環境体験授業(ホタル・堂山活用等)実施
	22年	10月	緑化モデル事業記念式典
	24年	1月	県指定食育推進校研究発表会
	26年	2月	壱岐市・朝来市 パートナーシップ宣言
	27年	12月	朝来市教育研修所指定研究発表会
	28年	10月	壱岐市・朝来市友好「ザザッ交流太鼓まつり」に出演
	29年	6月	プールの改修工事が完了 全校プール指導を行う
		10月	平成29年度 兵庫県グリーンスクール表彰の受賞 ヒメボタル・ホタルミミズの環境学習
11月		平成29年度 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会神奈川大会で発表	
令和	2年	11月	令和2年度 但馬小学校家庭科教育研究大会(新型コロナウイルスにより中止)誌面発表
	3年		東河小学校150周年